

第 6 学 年 国 語 科 学 習 指 導 案

平成 18 年 9 月 28 日 (木) 5 校時

第 6 学年 男 16 名 女 16 名 計 32 名

指導者 村井 春美

1 単元名 二 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

教材名 平和のとりでを築く (光村図書・下)

2 単元設定の理由

(1) 児童について

児童は、5年生のとき「サクラソウとトラマルハナバチ」で文章構成に着目しながら要旨をまとめる学習を、「ニュース番組作りの現場から」で内容を過程ごとに整理しながらまとめるという学習をしてきた。また、6年生では「生き物はつながりの中に」の学習で、文章構成や文末表現に着目しながら要旨をまとめ、それに対する自分の考えを持つという学習をしている。これまでの学習を通して、文章構成等に着目しながら叙述に即して内容を読み取ることや、筆者の伝えたいことを読み取することは、次第に身に付いてきている。しかし、読み取った内容に対して感想を述べることはできるものの、筆者の伝えたいことに対して自分はどうか考えるかをまとめられる児童は限られている。

日常の国語学習の様子をみると、読書量が多く長文でもすぐに要旨を捉えられる児童もいれば、自力で文章を読んだり書いたりする力が十分ついておらず支援を必要とする児童も数名いて、個人差が大きい状況にある。しかし、学習には、みな前向きに取り組んでおり、特に、説明的文章の学習のしかたは身に付いてきているといえる。

交流については、自分の考えを持たせて交流の場に臨ませてはいるが、相違点や共通点をしっかり押さえたり、相手の意図や根拠について聞き返すなどして自分の考えを深めたり広げたりする力は、まだ十分にはついていない。

(2) 教材について

第5・6学年の読むことにおける目標は「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。本教材では、「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確に持ちながら読むこと」について扱う。

本教材は、先の大戦で広島に原子爆弾が投下され、傷だらけとなった「物産陳列館」が、多くの人々の平和を願う心によって世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章である。文章は、「話題提示、説明1、説明2、まとめ」と大きく4つのまとまりで構成されており、話題提示では、原爆ドームに対する筆者の思い、説明1では原爆ドームのたどった歴史、説明2では世界遺産への道のり、まとめでは原爆ドームの存在の意味と、核兵器の廃絶と世界の平和を願う筆者の強い思いが述べられている。また、史実も編年体で説明されていて分かりやすく、題名と最終段落における「平和のとりでを築く」という言葉から要旨をとらえやすくなっている。

本教材は、引き続き取り扱う「自分の考えを発信しよう」で、自分の考えをよりわかりやすく工夫して発信する力を育てる学習へと発展していく。「平和のとりでを築く」で学習したことなどをもとに、「平和」について「発信する目的と相手、課題、方法」を決め、自分の考えが読者に明確に伝わるように文章に書いて発信する。

(3) 指導に当たって

本教材では、筆者が訴えたいことを読み取り、それに対して自分の考えを持つために、「原爆ドーム」がたどった歴史と「世界遺産」への道のりを人々の思いに着目して読み取らせるとともに、題名や文章構成、文末表現、重要語句などを関連づけながら筆者の訴えたいことを読み取らせ、それに対する自分の考えをまとめさせる。

叙述に即して事実と意見を区別しながら読み取することを大事にすると共に、自分の考えを書く活動をできるだけ多く取り入れ、自分の考えをまとめられるようにする。読み取りの力が十分についていない児童や書く力の定着が不十分な児童もいることから、読み取りの補助学習シートを用意する。

また、「戦争」「原子爆弾」などという言葉は知っていても、実際にそれがどんな惨劇をもたらしたのかを知っている児童は少ないと思われる。そこで、関連図書コーナーで戦争や原子爆弾に関する本を紹介したり、実際に原子爆弾の被害に遭った人たちのビデオや新聞記事を見せたりして、平和に関する関心・意欲を高め、筆者の考えや願いを読み取る一助としたい。

(4) 研究仮説にかかわって

仮説1にかかわって、本単元のキーワードを「原爆ドームの役割」とし、これを手がかりに教材文を読み取っていく。課題を明確にし、キーワードや、重要語句、文末表現などに着目させることで解決の見通しをしっかりと持たせ、一人読みに入られるようにする。

仮説2にかかわって、本単元では、友達の考えとその根拠を確かめながらグループで交流し、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。交流にあたっては、常に話の内容や話し手に心を寄せて交流できるように、その都度指導していく。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

筆者が訴えたいことを的確に読み取り、それについて自分なりの考えをもつことができる。

〔関心・意欲・態度〕書かれている事象や筆者の感想・意見に対して自分の考えをもちながら読んだり、話し合ったりしようとする。

〔読むこと〕書かれている内容について事象と感想・意見の関係を押さえ、自分の考えをもちながら読むことができる。

〔言語事項〕文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。

(2) 単元の評価規準

国語への 関心・態度・意欲	読むこと	言語についての 知識・理解・技能
・「原爆ドーム」が世界遺産に指定されるまでの過程や筆者の平和への訴えに対して自分の考えをもちながら読んだり、話し合ったりしようとしている。	・世界遺産に指定された「原爆ドーム」と筆者の平和への訴えの関係を押さえ、それに対して自分の考えをもちながら読んでいる。	・「原爆ドーム」が世界遺産に指定される過程と筆者の訴えが書き分けられていること、また、それらの関係を理解している。

4 指導計画(14時間扱い 読むこと7時間)

読育のたのしみ		<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する自分の考えを持ち、計画的・主体的に読もうとする。(関・読) 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること(読イ) ・書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。(読工) 		
活動の流れ	<p>「6年」 「生き物はつながりのなかに」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落構成 ・要旨をとらえ、自分の考えを持つ。 	<p>「平和のとりでを築く」を読み、おおまかな内容をつかみ学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆ドームは、ユネスコの世界遺産への仲間入りを果たすまでに、どのような年月をたどってきたのだろう。 ・筆者は何を伝えたいのだろう。 	<p>文章の内容をとらえて、筆者が読者に伝えたいと願っていることを読み取りながら、自分の考えを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「原爆ドーム」はどのような歴史をたどったのだろう。 ・「世界遺産」への道のりはどのようなものだったのだろう。 ・筆者が私達に伝えたいことは何だろう。 	<p>「平和」について考え、自分の考えを発信する。</p>	
段階	事前	つかむ(2時間)	読み取る・まとめる(5時間)	広げる(7時間)	事後
学習活動 交流 留意点	<p>戦争体験のVTRを視聴する。</p>	<p>第1時 題名と段落から、読みの課題を確認する。 第2時 文章構成をとらえ、学習課題を確認する。</p> <p>題名と段落から筆者の思いをとらえ、学習課題を考える 全文を4つの意味段落に分け、文章構成図を書き、課題を考える。 文章構成図を個人で書き、交流しながら全体で確認する。 既習の学習方法を想起し、めあてをもちやすくする。 題名やリード文に目を向け、めあてをもちやすくする。</p>	<p>3時 ~ から「原爆ドーム」がたどった歴史を読み取り、それに対する自分の考えをもつ。 4時 ~ から「原爆ドーム」が世界遺産に指定されていく過程と筆者の思いを読み取り、自分の考えをもつ。 5時 から「原爆ドームの役割」について考える。(本時) 6・7時 筆者が伝えたいことをまとめ、それに対する自分の考えをもつ。</p> <p>時を表す言葉に着目しながら、「原爆ドーム」がたどった歴史を読み取り、自分の考えを持つ。 「原爆ドーム」が世界遺産に指定されていく過程を読み取り、自分の考えをもつ。 筆者が伝えたいことをまとめ、それに対する自分の考えをノートに書き、発表し合う。 読み取ったことをもとに、それに対する自分の考えをもち、グループ内で意見交流し考えを深める。 自己評価・相互評価を次時に生かす。 叙述に即して読み取らせるとともに、根拠を明らかにしながら自分の考えをもてるようにする。</p>	<p>8～14時「平和」について考え、必要な資料を集め文章にまとめ、自分の考えを発信する。 (自分の考えを発信しよう)</p>	<p>学習したことを社会などの学習に生かす。</p>
評価の観点		<p>第1・2時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落から筆者の思いの書かれている文をとらえ、学習課題をとらえている。 ・全文を4つの意味段落に分け、文章構成図を書き、課題をとらえている。 	<p>第3・4時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時を表す言葉に着目しながらそれぞれの過程を読み取り、自分の考えを持っている。 <p>第5～7時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えをとらえ、それに対する自分の考えを書いている。 	<p>第8～14時</p> <p>自分の考えを明確に表現するため、事象と感想・意見を区別して書いている。</p>	

5 本時の指導

(1) 本時の目標

段落を重要語句や文末表現に着目しながら読み、筆者の考える「原爆ドームの役割」について読み取ることができる。

(2) 研究仮説に関わって

仮説1 重要語句や文末表現に着目しながら、筆者の考える「原爆ドームの役割」について読み取ることができる。

仮説2 本時の交流の場を以下のように設定した。

目的・・・原爆ドームの役割の一つである「平和のとりでを築く」についての読み取りを深めるため。

相手・・・グループ(4人)

内容・・・「平和のとりでを築く」について、友だちの考えとの共通点や共感すること、新たな気付きなどをもつ。

方法・・・話し合い

(3) 展開

段階	学習内容(発問・児童の反応)	指導上の留意点	支援	評価
つかむ3分	1 前時の想起 2 学習課題の把握 今日の課題を確認しましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者は原爆ドームの役割をどのように考えているのだろう。</div>			「原爆ドーム」が世界遺産になった経緯と、筆者の思いを確認する。
読み取る35分	3 学習の見通し (1) 学習場面を音読する 「原爆ドーム」の役割について考えながら段落を読みましょう。 4 読み取り (1) 原爆ドームの役割を読み取る。 筆者が原爆ドームの役割をどのように考えているか分かるところはどこですか。 ・世界の人々に警告する記念碑 ・「平和のとりで」を築く世界の遺産 原爆ドームはどんなことを警告していますか。 ・核兵器を二度と使ってはいけない。 ・核兵器は不必要である。 それはなぜですか。 ・核兵器を使うと大きな被害が出るから。 ・広島でのような恐ろしいことが起こるから。			読みの視点を持ちながら一斉読みさせる。 文章構成を確認し、最終段落には筆者の考えが述べられていることを確認する。 サイドラインを引かせる。 文末表現「なのである」「なのだ」に着目させる。 文末表現に着目しながら、サイドラインを引くことができる。(発表、挙手) 第3時に学習したことを振り返り、核兵器による被害の大きさを思い起こさせる。

<p>読 み 取 る</p>	<p>「平和のとりでを築く」という言葉は何から引用したのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国連のユネスコ憲章 「戦争は人の心で生まれる」とはどういうことなのでしょう。 ・相手国のことを考えない。 ・自分たちのことばかり考えている。 ・心のすれ違いから戦争が生まれる。 <p>(2) 「平和のとりでを築く」とはどういうことかを考える。</p> <p>「平和のとりでを築く」とはどういうことなのか自分の考えをワークシートに書きましょう。</p>	<p>筆者が最終文で述べている「平和のとりでを築く」が、国連のユネスコ憲章からの引用であることに着目させる。</p> <p>自分なりの根拠を述べながら、考えをシートに書かせる。</p> <p>考えがもてない子には、「とりで」の意味を確認しながら、「平和のとりで」をイメージ化させる。</p> <p>考えをワークシートに書いている。</p>
<p>3 5 分</p>	<p>5 交流</p> <p>(1) 自分の考えたことをもとに交流する。</p> <p>「平和のとりでを築く」とはどういうことなのか、考えたことをグループで話し合しましょう。</p> <p>話し合ったことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々が平和を守っていくという気持ちを強く持つということ。 ・核兵器をなくし、世界の平和を守っていこうとすること。 <p>友達の発表について意見や感想を言いましょ。[相互評価]</p>	<p>共通点新たな気付きなどをメモさせながら聞くようにさせる。</p> <p>自分の意見と友達の意見とを聞き比べながら交流している。(発表、観察)</p> <p>話し合いの様子を2～3グループに発表させる。</p> <p>大事な語句を板書し、まとめに生かすことができるようにする。</p> <p>グループや全体で交流したことにより変容したことについて発表させる。</p>
<p>ま と め る 7 分</p>	<p>6 学習のまとめ</p> <p>(1) 本時の学習のまとめをする</p> <p>話し合ったことをもとにしながら、自分でまとめをしましょう。</p> <div data-bbox="347 1738 1353 1930" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>原爆ドームの役割は、核兵器の恐ろしさと不必要さを警告すること、見る人の心に平和のとりでを築くことである。</p> </div> <p>(2) 本時の振り返りをする</p> <p>課題に対して自分なりに考えること</p>	<p>交流したことをもとに、まとめを発表させる。</p> <p>友だちから学んだことなどを入れながら、自分なりの言葉でまとめている。(ワークシート)</p>

	<p>ができたか、自己評価しましょう。</p> <p>7 次時の予告 次時は、筆者の伝えたかったことをまとめ、それに対する自分の考えをまとめていきます。</p>	<p>自己評価することにより、成就感を持ち、次時への意欲が高まったか。 (ワークシート、挙手)</p>
--	--	---

(4) 評価

評価目標	具 体 の 評 価 規 準		
	A 十分満足	B 概ね満足	C 努力を要する 児童への手立て
原爆ドームの役割を読み取り、「平和のとりでを築く」とはどのようなことを考えることができる。	「平和のとりでを築く」とはどのようなことを考え、原爆ドームの役割について説明を伴ってまとめている。	「平和のとりでを築く」とはどのようなことを考え、原爆ドームの役割についてまとめている。	「平和」「とりで」「築く」の意味を一緒に考えながら自分の考えを持てるようにする。

(5) 板書計画

<p>平和のとりでを築く</p> <p>大牟田 稔</p> <p>筆者は原爆ドームの役割をどのように考えているのだろうか。</p>	<p>痛ましい姿の原爆ドームは、原子爆弾が人間や都市にどんな被害をもたらすかをわたしたちに無言で告げている。未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけない、いや、核兵器はむしろ必要だと、世界の人々に警告する記念碑なのである。</p> <p>国連のユネスコ憲章には、「戦争は人の心で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」と記されている。原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。</p> <p>原爆ドームの役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の人々に警告する記念碑 ・ 平和のとりでを築くための世界の遺産 <p>「平和のとりでを築く」とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の人々が平和を守っていくという気持ちを強く持つということ。 ・ 核兵器をなくし、世界の平和を守っていくこととする。 <p>原爆ドームの役割は、核兵器の恐ろしさと不要さを警告すること、見る人の心に平和のとりでを築くことである。</p>
---	---